

順天堂大学 vs 東京国際大学

5月24日(土)
13:50K.O.
東総

首位・専大を追う2位の順大。前節の駒大戦は1-0で勝利を取めたが、「基本的には何もなかった。ただ、失点しなかったことはよかった」

吉村雅文監督は厳しい表情を浮かべた。「やろうとしていたことができたわけではないし、守から攻の部分でも何もなかった」(吉村監督)

このところ、やや順大らしさが影を潜めているだけに、もう一度、自分たちのサッカーに立ち返りたい。「ボールを奪ってからどう攻めていくか。順大は早くボールを引き出そうとしていて、そのためにはいいサポートといいコースを作ることが必要。それによるゴールまでつなぐサッカーを目標としている。ボールを持った後の反応が鈍いし、ボールを奪った瞬間に次のコースを引き出せる選手がいない。それをできないと、格上相手に勝っていけない。大きな課題」(吉村監督)

前期リーグ残り2試合でその課題をクリアできるか。前節、桐蔭大に0-2の敗戦を喫した東国大。「完敗だ。前半からセンターフォワードを代えて勝負に出た。後半は前からプレスをかけて、ボールに対しての意識を高くした。相手も後半は余裕は作れなかったので

はないか。勝負をかけたときに点が取れたらよかったが、取れなかった。怖がってボールを受けようとしな、どちらかというリアクションサッカーになってしまっていた」(前田秀樹監督)

残留争いのなか、やや萎縮したプレーになってしまったのは否めない。1年生が多く出場しているだけに、フレッシュさを試合の中でもっと発揮していきたいところ。守備の部分をもう一度立て直したい。

警告3回：福島遼(東国大)

昨年のリーグ戦での対戦はなし

順大				東国大			
13. 宮本	22. 米田	22. 菅原	29. 新聞				
4. 谷奥		9. 福島	15. 舛田				
	6. 長谷川涼		16. 森				
21. 大畑	20. 佐野		1. 上平				
	10. 長谷川竜						
	7. 内山	10. 若井					
5. 新井		26. 高木	5. 鈴木				
3. 吉永	23. 新里	7. 小玉	3. 新地				

早稲田大学 vs 筑波大学

5月25日(日)
13:50K.O.
BMWス

勝点差4ポイントで首位の専大を追う早大。前節は国士大を3-1で下し、3位で追走している。

「勝点3を取れたことはよかったが、今日の相手のエネルギーであれば完封できた」

と、1失点に古賀聡監督はやや厳しい表情。厳しい姿勢で臨まなければ、紙一重の試合で勝点を落としてしまう危険性もあるだけに、これまで以上にしっかりと気持ちを引き締める。

「リスタートで点を取れた。個の仕掛けで得点を取れた」(古賀監督)

一方で、攻守の切り替えの速さを強みとして磨きをかけてきたが、その力を十分に発揮することはできなかっただけに、

「もっと高めたい」(古賀監督)

一戦一戦、負けられない厳しい試合が続くが、ここでしっかりと勝ちきれようになれば、後期リーグにも必ずつながるはずだ。

最下位に低迷している筑波大。前節の専大戦も0-2の敗戦。

「自分たちの持っている力は発揮して戦えたと思う。結果がついてこなかったことは残念だ。9試合、言い続け

ていることだが、今回は特にそうだった。相手にチャンスはあったが、うちにもチャンスがあった。内容はそんなに悪くなかった」(中山雅雄監督)

チャンスを作りながらもPK失敗などそこで決めきれず、勝ち切れない試合が続くが、

「決めきること。勝ちという結果をどう出していくか。試合の状況に応じて、一人ひとりが判断しながら戦っていかなければならない。」(中山監督)

警告3回：西村洋平、車屋紳太郎(以上筑波大)

昨年の対戦：前期/早大1-0筑波大、後期/早大1-3筑波大

早大				筑波大			
13. 西山	14. 堀田	28. 北川	34. 浅岡				
3. 田中進	15. 上形		5. 西村				
	6. 近藤洋		13. 齊藤				
1. 松澤		9. 若杉	10. 中野嘉	30. 有賀			
	23. 園田		7. 車屋				
2. 奥山	9. 宮本		8. 早川				
22. 新井	7. 近藤貴	31. 三宅	32. 野口				

JR東日本カップ 2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦

OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.9 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

前期リーグ残り2節、専大が首位をキープ

前期リーグも残り2節となった「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」。終盤に突入し、白熱した戦いが繰り広げられている。まずは前節を振り返ってみよう。

首位を走る専大は、最下位の筑波大と対戦。ベストの試合内容ではない専大だが、この日はPKとFKを直接決めて筑波大を2-0で下し、ガッツリと首位をキープしている。筑波大は9試合を終了して、いまだ勝星がなしと苦しんでいる。

2位の順大 vs 5節から4連勝と好調の駒大は、両者譲らぬ好ゲームを展開したが、前半36分に直接FKを決めた順大が、大きな勝点3をゲットした。駒大の連勝はストップ。

早大 vs 国士大は、早大が前半23分、34分と2点をリード。国士大も後半22分に1点差に詰め寄ったが、43分に早大が3点目を奪って試合を決めた。早大は必死に首位・専大を追走。国士大はどうにも波に乗りきれず、苦しんでいる。

前期リーグ終盤になって調子が上がってきた明大は、なかなか勝ちきれない中大との戦。前半45分に先制点を奪って、その後も終始試合を優位に進めた明大だったがチャンスを生かし切れず、追加点を奪えない展開に。すると、これ以上負けられない中大が、後半のアディショナルタイム3分にスローインの流れからゴールを決めて、土壇場で1-1の引き分けに持ち込ん

得点ランキング		アシストランキング	
前澤 甲気(専大)	8点	北出 雄星(専大)	5アシスト
山根 視来(桐蔭大)	7点	堀田 稜(早大)	4アシスト
近藤 貴司(早大)	5点		以下3アシスト6名
佐野 翼(順大)	5点		
藤本 佳希(明大)	5点		

だ。明大は痛い引き分け、中大はこの勝点1を浮上のキッカケにしたい。流経大と調子が戻ってきた慶大の対戦は、両者互いに譲らず0-0の引き分けに終わった。どちらも上位陣に迫ることができず、一歩後退した格好。なかなか下位を脱出できない桐蔭大と東国大の戦。アグレッシブな姿勢を見せた桐蔭大が前半16分、40分にゴールを奪い、2-0で下した。桐蔭大が勝点を伸ばして、ますます混戦模様のリーグ戦。前期リーグは残り2節だが、アミノバイタルカップ開催のためリーグ戦は一時中断し、前期リーグ最終節は6月14日、15日に開催される。

JR東日本カップ 2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	順大	早大	明大	慶大	駒大	国士大	流経大	東国大	桐蔭大	中大	筑波大	試合数	勝数	分け	負け	得点	失点	得失点差	勝点
1	専大	1●2	6月15日	5月24日	2△2	6○0	2○0	2○1	2○0	5○2	4○2	2○0	9	7	1	1	26	9	17	22	
2	順大	2○1	0△0	0△0	0●1	1○0	2○1	3○1	5月24日	4○1	6月15日	2○0	9	6	2	1	14	5	9	20	
3	早大	味フィ西	0△0	1●2	2○0	3○1	3○1	1△1	2○0	0△0	2○1	5月25日	9	5	3	1	14	6	8	18	
4	明大	川口	0△0	2○1	0●2	2○0	6月14日	0●1	1○0	4○1	1△1	3○1	9	5	2	2	13	7	6	17	
5	慶大	2△2	1○0	0●2	2○0	5月24日	0△0	0△0	0●2	6月15日	2○1	1○0	9	4	3	2	8	7	1	15	
6	駒大	0●6	0●1	1●3	0●2	たつこの	2△2	3○0	6月15日	3○2	2○1	4○3	9	4	1	4	15	20	-5	13	
7	国士大	0●2	1●2	1●3	味フィ西	0△0	2△2	2○1	1△1	1○0	5月24日	3○0	9	3	3	3	11	11	0	12	
8	流経大	1●2	1●3	1△1	1○0	0△0	0●3	1●2	4○3	5月24日	1○0	6月14日	9	3	2	4	10	14	-4	11	
9	東国大	0●2	千葉東総	0●2	0●1	2○0	古河	1△1	3●4	0●2	1○0	1△1	9	2	2	5	8	13	-5	8	
10	桐蔭大	2●5	1●4	0△0	1●4	古河	2●3	0●1	たつこの	2○0	1●3	3○1	9	2	1	6	12	21	-9	7	
11	中大	2●4	味フィ西	1●2	1△1	1●2	1●2	川口	0●1	0●1	3○1	0△0	9	1	2	6	9	14	-5	5	
12	筑波大	0●2	0●2	BMWス	1●3	0●1	3●4	0●3	味フィ西	1△1	1●3	0△0	9	0	2	7	6	19	-13	2	

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

悩むより、走り出そう。

部活と就活にエールを送る！体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

RECRUIT

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

国士舘大学 vs 中央大学

5月24日(土)
11:30K.O.
川口

思うように勝点を伸ばせない国士大。前節の早大戦も終始、早大にリードを奪われ、1-3の敗戦を喫してしまっ

た。「カウンターをくらってしまった。共通理解をしていかなければいけない。1点勝点を伸ばして次につなげていきたい。2点のビハインドから1点返して積極的に攻撃し、あきらめずにひっくり返そうという気持ちで臨んでいたことは評価できる」(細田三二監督)

ここ2試合、先制点を奪われることで、なかなか思うような戦いができずに、消極的なプレーが目立つ。早大戦もシュート数はわずかに2本だった。

「心理的に自信を持ってプレーできない状態では、こじ開けることができない」(細田監督)

少しでも優勝の可能性を残すためには、前期リーグのここからの2試合は落とすわけにはいかない大事な試合となる。

こちらもなかなか勝ちきれない中大。内容自体は悪くないのだが、シュートを決めきれない。前節は明大とのゲームだったが1-1の引き分け。

「今のチーム状況からすると、たとえ1であっても貴重な勝点。それを次につなげられるようにしていきたい」

(白須真介監督)

前半終了間際に失点してしまったが、最後まであきらめることなく、後半のアディショナルタイムにゴールを奪って、大きな勝点1を得た。勝点を得たことで自信につなげていきたい。

「相手にボールを持たれることが多かったり、チャンスを作られる部分が多かった。そこは修正していきたい」

(白須監督)

警告3回：橋本龍馬(中大)

昨年の対戦：前期/国士大2-1中大、後期/国士大2-2中大

国士大		中大	
12. 藤寄	10. 進藤	11. 古橋	39. 鴨池
4. 今瀬	11. 平松	10. 砂川	3. 小出
	8. 松本		25. 三島
30. 大谷			1. 前田
	38. 平野		17. 飯干
3. 福田	16. 木下	9. 内田	5. 岡崎
7. 橋	34. 渡辺	7. 山田	15. 縣

慶應義塾大学 vs 駒澤大学

5月24日(土)
11:30K.O.
たつのこ

「非常にいいゲームだった。失点ゼロを目指してやっていたので、守備が安定してよかった」(慶大・須田芳正監督)

リーグ中盤、やや元気がなかった慶大だったが、8節で順大を1-0で下すと、前節の流経大戦は0-0の引き分け。勝ちきれなかったものの、2試合連続で失点ゼロと堅い守備が戻ってきた。

「守備の部分が収穫。守備が安定したことが成長だと思う」(須田監督)

ここから勝点3を奪っていくためには、攻撃であと一歩、質を高めていかなければいけない。

「ボールを奪ったあとに、どう攻めるかというところが課題。もっといい形でカウンターを狙っていきたい」(須田監督)

再び上昇気流に乗っていけるかどうか、大事な試合が続く。

5節から4連勝と好調だった駒大だが、前節は2位の順大に0-1の敗戦を喫してしまった。

「残念。もう少し動ければということと、決定的なチャンスに点数を入れられたらよかった」(秋田浩一監督)

決してチャンスがなかったわけではないが、そこで決

めきれなかったのが響いた。一方、守備面ではFKから1失点したものの、

「粘り強くディフェンスができた。相手に個人でうまい選手がいる中、一生懸命粘り強くやっていた」

と、秋田監督は評価した。今後、勝っていくためには、「運動量を増やすことと、そこから徹底して攻めるということやっていく」(秋田監督)

慶大の強固な守備を破ることができるか。

警告3回：溝淵雄志(慶大)、伊藤慎人(駒大)

昨年のリーグ戦での対戦はなし

慶大		駒大	
19. 井上	11. 増田	7. 平野	13. 大木
2. 久保	7. 川田		4. 平尾
	29. 浅間		10. 板倉
1. 峯		9. 小牟田	1. 秋山
	8. 山浦	11. 小牧	
6. 望月	34. 黄	25. 唐木沢	5. 伊藤
3. 溝淵	20. 山田	19. 吉岡	16. 柳川

専修大学 vs 明治大学

5月24日(土)
13:50K.O.
川口

安定した力で首位をキープしている専大。前節の筑波大戦は2-0の勝利。しかし、

「2点ともセットプレーからの得点だったのが……」

と、源平貴久監督は気持ちを引き締める。そういった試合内容でも、勝点3をしっかりとゲットした力はさすがだが、

「流れの中から点を取りたかった」(源平監督)

というのが本音だろう。こここのところ勝ちきってはいれるものの、攻撃面で精細がない。今節は、力のある明大とのゲーム。

「勝てるように準備をしたい。3年生主力のチームという印象。いい状況のチームだと思う。明大は全国で一番強い相手だと思うが頑張りたい」(源平監督)

ここで勝ちきることができれば、ぐいっと優勝を引き寄せることができるが……。

前期リーグ終盤に向けて、調子が上がってきた明大。前節の中大戦も試合を支配し、前半45分に先制点を奪って理想の展開だったが、2点目を奪えず、逆に後半のアディショナルタイムに失点し、勝点2を失った。

「リードしていたなか、最後に相手に点を取られて、勝点2を落としてしまったというゲームだった」(栗田大

輔監督)

試合全体を通して攻めており、決定的チャンスも多くあったが、

「そのなかで点が入らないと、最後にピンチを招いてしまう。そういう意味では評価というよりも、勝点を落とした試合」(栗田助監督)

試合内容はともかく、勝点3を取りきれなかっただけに、この試合ではいかにゴールをキッチリと奪うかがポイントだ。

昨年の対戦：前期/専大4-1明大、後期/専大1-1明大

専大		明大	
46. 大瀬	11. 前澤	27. 瀬川	2. 室屋
6. 河津		9. 矢島	3. 山越
	16. 沓掛		7. 差波
1. 福島	7. 北出	9. 山川	1. 三浦
	36. 私市		17. 小谷
3. 萩間		18. 苅部	13. 小池
2. 北爪	10. 仲川	8. 石原	6. 高橋

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

流通経済大学vs桐蔭横浜大学

5月24日(土)
13:50K.O.
たつのこ

前節の慶大戦は0-0のスコアレスドローに終わった流経大。なかなか勝ちきれないが、

「負けなかったので悪い試合とはいえないが、勝ちたかった。ディフェンスが安定したと思ったが、オフenseに課題があった」(中野雄二監督)

守備陣が無失点に抑えたことはよかったが、「慶大も引いていたことを考えると、収穫はあまりない」と、中野監督は厳しい表情。

「バランスが悪い。守備を意識すれば点が取れないし、点を取ろうとすると守備が乱れる。サッカー選手としては、その両方ができるようにならなければならないので、まだまだだと思う」(中野監督)

個の力はそれぞれ高いだけに、いかにチームとしてまとまって戦えるか。

「単純にどうバランスを取るかを意識していきたい」(中野監督)

残留争いに巻き込まれている桐蔭大だが、前節は必死のプレーが実り、東国大を2-0で下して勝点を7まで伸ばした。

「勝点を取れたということは素直にうれしい。2点目のシーンは完全に相手を崩せていた。ゴール前のかかわり

という点は、練習してきたことだったためよかった」(八城修監督)

得点シーンも納得のいくものだった。しかし、勝ち続けるにはまだまだ修正点も多い。

「2-0とリードして後半を迎えたにもかかわらず、追加点を取れなかった。ボールをつまらなく失うという点は反省点だ」(八城監督)

ここで連勝できるようだと、一気に自信もつくのだが……。

昨年の対戦：前期/流経大1-3桐蔭大、後期/流経大1-0桐蔭大

流経大		桐蔭大	
	20. 江坂	8. 山崎	19. 中島
9. 田上		12. 藤山	10. 坪井
	10. 野口		4. 古澤
			39. 林
22. 坂田	5. 川崎	32. 川上	21. 田中雄
	25. 古波津		5. 大野
		11. 富樫	28. 石川
	26. 藤原		40. 時田
	7. 森保	7. 山根	18. 佐々木